



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111 (内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.family.ne.jp/~k-itou/index.html>

核兵器なくせ、原発再稼働反対！ 足立の平和行進



足立の平和集会・7月27日竹の塚第5公園



国民平和進行は北海道から東京までリレーされて27日足立区に到着。集会後、強い日差しと34度の猛暑なか区議団も参加し行進しました。竹の塚カリンロード商店街、撮影・伊藤和彦

足立の平和行進は7月27日、竹の塚第5公園に結集し、原水爆禁止2012年世界大会に足立区から参加する人々から挨拶や決意表明が行われました。核兵器なくせ、原発再稼働反対！を訴え、ベルモント公園まで平和行進を行いました。

広島と長崎に原爆が落とされてから67年が経ち、被爆者をはじめ核兵器の廃絶を求める運動やそれを支持する政府、自治体などたくさんの方々の行動と世論の高まりによって「核兵器のない世界の平和と安全を」(2010年NPT再検討会議最終文書)をめざすことが核保有国も含む世界の国々の合意になりました。この合意を実行させ、核兵器のない世界の扉を開くことが、いま人類が直面している課題です。核兵器はロシア、アメリカなど世界には1万9500発あります。

平和を願う区民の世論と運動は、足立区議会では「核兵器廃絶の決議」を全会一致で採択され、足立区長は「全国平和市長会議」に加盟し、非核、平和の自治体は、全国で63.6%、1139自治体に広がっています。

8月7日から10日、足立区役所1階アトリウムでは「原爆・平和・平和を考える展示会」を主催・足立区被爆者の会、足立区、足立教育委員会で行われます。

今年からビデオ上映のモニター設置が実現しました。

日本共産党区議団が足立区被爆者の会のみならずの要望にこたえて、粘り強く予算要望や議会質問で取り上げてきたものです。

つくばエクスプレスのダイヤ改正

区は7月26日、首都圏新都市交通株式会社よりダイヤ改正実施について、報告がありましたのでお知らせします。

実施は10月15日。主な内容は平日(上り)の朝のラッシュ時間帯の混雑解消に運行本数(北千住到着)現在の20本 22本にします。平日(上り)の朝のラッシュ時間帯に守谷~秋葉原では普通列車を3本増発。つくば~守谷では列車の運行区間や種別変更し、区間快速列車を2本増発。朝(上り)、夕、夜間(下り)「通勤快速」を4本づつ新設。平日・土休日に秋葉発つくば行き最終列車を現在、23時30分発を15分繰り下げ23時45分発とするなどです。



自治体学校に参加

「みんなでつくるホンモノの地方自治」をテーマに第54回自治体学校が7月21日から3日間、浜松市で開かれ参加しました。

学校長の中嶋信(徳島大学名誉教授)はフランスの詩人L.アラゴンの「教えることは希望を語ること、学ぶことは誠実を胸に刻むこと」を引用して希望を語る、誠実に学ぶ人の共同体が学校だと強調。東日本大震災と福島原発事故の被害状況は未だに深刻で、「災害関連死」を生み出している。これまでの経済成長優先で規制緩和を進めてきた結果、安全、安心を軽視し、防災や減災を損ねてきたこと、福祉行政のレベル低下など「地方制度改革」によって財政、人員、権限を制約された地方自治体が住民要求に直ちにこたえられない現実を指摘し、これまで以上に幅広い知見や旺盛な行動力が必要であること、など講演しました。

私は党区議団とともに多くのことを学び議会論戦など今後に生かしていきます。(伊藤和彦)

伊藤和彦区議・区政報告の街頭宣伝

8月以降の予定

- 8月6日(月)朝7時から8時 竹ノ塚駅東口
- 8月15日(水)終戦記念日 午前11時 竹ノ塚駅東口 大島よしえ都議と行います
- 8月20日(月)朝7時から8時 竹ノ塚駅東口
- 9月3日(月)朝7時から8時 竹ノ塚駅東口



西保木間3丁目都住・13号棟

建設委員会で都営住宅の建て替えなどの事業報告があり、エレベーター設置工事では保木間アパート2号棟、西保木間3丁目

都住のエレベーター設置早く！

8、14号棟、西保木間第2は、1、2号棟など10基。同委員会で伊藤和彦区議は、西保木間3丁目の13号棟の設置について都から設計がでたのか、区で審査がされているのか、質しました。担当課長は「都と確認する」と答弁でしたが、その後「都と協議中で設置する方向で11月に結論を出す」と回答がありました。居住者からは「11、12号棟と同じようにエレベーターを早く設置して欲しい」と都にも交渉し、1日も早い設置を粘り強く求めています。

質問にお答えします



Q 民主、自民、公明3党による消費税増税法案には、新たなムダ遣いを生み出す「仕掛けが盛り込まれている」と言いますがどういものですか。
(南花畑・Aさん)

A 民、自、公の3党は消費税の増税法案の18条2項に「成長戦略並びに事前防災及び減災等に資する分野に資金を重点的に配分する」と書き込み、消費税を増税すれば税収増を政府は13・5兆円を見込み、そのうち財政に「ゆとり」ができるとして公共事業に転用しようというものです。野田政権は法案が衆院を通過するや整備新幹線の未着工3区間(北海道、北陸、九州、長崎ルート)の着工(総事業費約3兆4千万円)を認可しました。「10年間で200兆円」(自民党の国土強靱化)、「10年間に100兆円」(公明党の「防災・減災ニューデール」と消費税増税をあて込んだ巨大公共投資の競いあい)です。「防災」「減災」のための基盤整備は必要ですが、住民の身近なところから整備を進めるべきです。民主、自民、公明3党の場合は、「防災」「減災」に名をかりたムダ遣いをすすめようとするものです。

マスコミ各社も注目し、「整備新幹線は『コンクリートから人へ』という理念を捨て、ばらまき政策に転換したと判断せざるを得ない」(「日経」6月30日付け社説)、「(消費税増税法案の)目的は、いつの間にか『公共事業の大盤振る舞い』へと変わりつつある」(「朝日」7月12日付け)、「消費税を防災の名をかりた大型公共事業に重点配分する。庶民増税を打ち出の小槌した新たなムダ遣い宣言だ」「共産党の市田書記局長の増税法案が新たなバラマキの財源になると真っ向から批判した」(「毎日」7月18日付け)と批判的です。消費税大増税の正体が見えたり!というもので、増税で景気を壊す、相次ぐ大企業減税で税収に穴をあけるものと言えます。(伊藤和彦)

石巻市に物資を送りました!



石巻に送った物資

日本共産党区議団有志でチームをつくり8月2日、3日石巻市に物資を届けました。

ご協力ありがとうございます

被災地から「支援物資が底をついた」の連絡があり、みなさんにお知らせしたところ、早速「子どもたちの姿に励まされています」と募金や、トイレトーパー、ティッシュペーパー、蚊取り線香、缶詰、お米40キロ、折りたたみ傘、ヘルスマーター、洗剤など生活用品をたくさん提供していただきました。

ご協力に感謝します。伊藤和彦



S病院の増設建設計画がある場所

S病院の増設工事計画(竹ノ塚4-2-1)に地域住民から8階建て高さ26.5mの病院建設(敷地面積970.48平方m)は迷惑、建設反対!と住民運動が起きています。

「病院としての駐車場、駐輪場問題は未解決だ」「ご遺体を収めた寝台車を私道を使って出入りする。とんでもない!」「竹ノ塚の場所での病

病院建設は迷惑!日照権の侵害、病院として出入り口が大問題



院建設計画は無理がある」「現在の場所(保木間3-3)で建て替えをせよ。説明は納得いかない」など。現在、S病院と交渉中です。